

フィンドレー大学への交流留学

11月 月例報告書

フィンドレー大学

前田晏菜

【クラスについて】

11月はこれまでの月に比べて、授業の課題の量が少なかったので少し落ち着いていました。Readingのクラスでは、自分で読みたいArticleを探し、SummarizeとResponseを書いて、Articleに関するQuestionを3つ考えるという課題が出たり、Compositionのクラスでは、Reaction Essayを書く課題が出ました。Communicationのクラスでは、近くの小学校を訪れ、それぞれ出身国の文化をプレゼンする機会がありました。不幸なことに、そのタイミングで風邪をひいてしまい、小学生の前でプレゼンをすることはできなかったのですが、プレゼン準備の段階で、自分が紹介する日本の文化を調べているうちに、日本の文化はこんなに興味深く、素晴らしいものなのだと感じました。Grammarのクラスでは、基本的にプリントで課題が出るのですが、レベルが合っておらず、簡単すぎるので私たちの文法力が上がっているとは感じられません。正直なところ、もう少し授業内容を改善してほしいと思っています。Listeningのクラスでは、基本的に課題は出ないのですが、授業内容はそこまで難しくなく、授業を受ける時に役に立つ知識をこの授業を通して学んでいるような感じです。

【学校外での遊びについて】

11月にもなると、かなりここでの生活にも慣れてきて、週末にバーに行けるようになりました。フィンドレーは、21歳からしか合法的に飲酒できないので、そこは気を付けなければなりません。加えて、私たちは留学生なので飲酒をするときの年齢確認をパスポートでしかできないので、パスポートを忘れないようにしなければいけません。積極的にバーに行くことを勧めることではないけれど、お酒の場なので、初対面の人とも自然に話しかけられること、大学内では出会えない人と出会えること、お酒が入っているので普段よりもリラックスして話せることがバーに行くメリットだと思っています。バーといっても、日本の静かなお洒落なバーとは少し違い、大音量の音楽で賑わっている感じなので、どちらかという日本のクラブに少し近い気がします。トラブルに巻き込まれないことにしっかり気を付ければ、普段のキャンパスライフとはまた違う楽しみ方で楽しめると思います。

【Thanksgivingについて】

11月はThanksgivingというアメリカ人にとってとても大事なお祝いがあります。Writingのクラスの1時間を使って、Thanksgivingのご飯をクラスみんなで食べてお祝いしました。私達はThanksgiving breakとして数日間のお休みがあったので、11月22日から24日は、ELL CENTERの仲の良いスタッフのおばあちゃんの家遊びに行かせてもらうことになりました。22日と23日は、Sydneyという町を案内してもらったり、一緒に映画を見たりして過ごしました。Thanksgiving当日には、20人くらいの家族・親戚たちが集まって、皆で食事をしました。留学に来る前から“感謝祭”として知っていたアメリカ人にとっての重要な文化を、実際にアメリカ人のお家に招いてもらえて一緒にお祝いが出来て、とても良い経験になりました。25日はブラックフライデーなので、アメリカ人の友達と日本人留学生の友達と、コロンバスのショッピングモールに行きました。アメリカ人によると、ブラックフライデーは戦いだと言っていました。しかし、最近ではオンラインショッピングでもブラックフライ

デーがあるので、オンラインで済ます人が増えているようです。そのため、ショッピングモールに行った時も、戦わずに欲しいもの手に入れることができました。



basketball game



onigiri action



orchestra concert



thanksgiving meals